

3 - 4 防災のための行動計画の作成

・地震発生後のインフラ途絶を想定し、「防災性能の目標水準」として、災害時にどのような生活ができるようにするか（災害時のクオリティ・オブ・ライフ）を共有し、防災対策をすすめる。この際、居住継続の前提である火災安全の確保等のために行動計画を作成することが望まれる。

1. 防災性能の目標水準として、災害時のQOLを共通認識化し、防災対策の改修に取り組む

防災性能の目標水準（災害時のQOL）を設定（P7～12参照）
 既存共同住宅が現在保有している防災性能（電力・上水等の備蓄）を診断（P13,14参照）
 具体的な改修技術を検討（P15～21）
 関連工事も含めた工期や工事時期を検討（P22～27参照）
 コストも含めた改修計画を作成（P28～30参照）

2. 災害時に居住継続ができるよう、火災安全の確保と被害実態の確認に向けた行動計画を作成する

「災害時に居住継続できる」ためには、建物が大地震に対して倒壊しないだけでなく、火災安全性能の担保が重要であり、防火設備等が正常な状態であることを確認する必要がある。

地震後のフェーズごとに「火災安全性の要求性能」を明らかにし、それを確認するための行動計画を作成。

【行動計画の記載内容例】

- ・何時の時点で（発災後？日目）
 - ・誰が（住民・専門技術者・インフラ事業者・行政等）
 - ・何を（建物・設備・備蓄）
 - ・（どのように）点検するのか
- （参考7）震災後の火災安全性能に係るフェーズの考え方と点検の概要

被害実態の把握のための行動計画を作成。

（参考8）被害実態確認のためのチェックシートの例

(参考7) 震災後の火災安全性能に係るフェーズの考え方と点検の概要

フェーズ	期間	住民	ライフライン	公設消防	要求性能	点検項目	達成性能	火気制限	備考
1	地震後一昼夜	一部未帰館	停止	期待できず	出火防止 避難安全	扉 廊下 階段	出火防止 避難安全	使用禁止	性能達成できない場合は避難もありうる。
2	2日目 ~ 2~4週	帰館	一部復旧	期待できず	出火防止 避難安全 構造耐火 防火区画	構造部 区画部 外壁・開口部 自火報 放送・警報 非常照明 スプリンクラー	出火防止 避難安全	使用禁止	は補修による性能達成も許容とする。
2.5			復旧	復旧		非常用エレベーター 連結送水管	出火防止 避難安全 構造耐火 防火区画	(消防活動)	一部制限
3	~ 6ヶ月・1年	帰館	復旧	復旧	出火防止 避難安全 構造耐火 防火区画 消防活動	本格点検と本格修復	制限なし		
4	通常状態								

フェーズ1 : 地震直後一昼夜の待機場所の確保 扉が開くこと、住戸から屋外までの避難経路の確保、通路からの散乱物の除去、階段の健全性

フェーズ2 : 通常の生活に復帰していく過渡期 火気使用の禁止は緩和せざるを得ないので火災リスクの増大に対応するための措置が必要

フェーズ2.5 : 専門技術者による点検 消防隊の活動に必要な諸設備の機能確保

フェーズ3 : 専門技術者による機能確認、フェーズ2までで行った簡易補修部分を完全に修復する

(参考8) 被害実態の把握に向けたチェックシート

安否確認のチェックシート例

様式-1 階別安否情報シート () 階
 記入後、該当する英点層(8・13・18・23・28・33 階)に届け、報告する。

記入者: 号室 氏名: _____
 記入日時: 平成 年 月 日 午前・午後 時 分

号室	名前	状況 (人数・安否)	救援の必要性 (内容)
01号室			
02号室			
03号室			
04号室			
05号室			
06号室			
07号室			
08号室			
09号室			
10号室			
11号室			

通信メモ

(1) 階別安否確認シート

様式-2 フロック別安否情報シート () フロック
 拠点層からの情報を、ブロックごとに下記一覧表にまとめる。
 各戸の記載内容: 人数(無事○、要救援: 内容記載) 不明: -

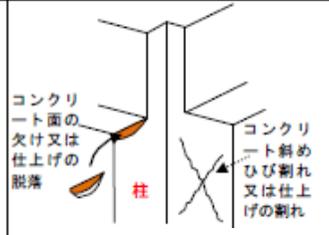
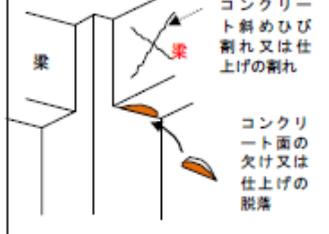
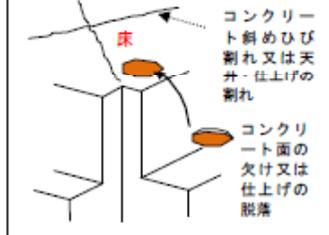
ブロック代表 情報班長 救護班長
 号室 氏名: _____ 号室 氏名: _____ 号室 氏名: _____
 記入日時: 平成 年 月 日 午前・午後 時 分

階数	階	階	階	階	階
代表名					
補佐名					
01号室					
02号室					
03号室					
04号室					
05号室					
06号室					
07号室					
08号室					
09号室					
10号室					
11号室					

通信メモ

(2) ブロック別安否確認シート

構造部材点検シート例

部位	被害状況(目視確認)		有無	備考
	イメージ図	項目		
柱	 <p>コンクリート面の欠け又は仕上げの脱落</p> <p>柱</p> <p>コンクリート斜めひび割れ又は仕上げの割れ</p>	・コンクリート面に斜めひび割れ	有 無	
		・コンクリート面の欠け	有 無	
		・仕上げはがれ、割れ	有 無	
		・仕上げの脱落、破壊	有 無	
梁	 <p>コンクリート斜めひび割れ又は仕上げの割れ</p> <p>梁</p> <p>コンクリート面の欠け又は仕上げの脱落</p>	・躯体に斜めひび割れ	有 無	
		・躯体コンクリートの欠け	有 無	
		・仕上げはがれ、割れ	有 無	
		・仕上げの脱落、破壊	有 無	
床	 <p>コンクリート斜めひび割れ又は天井・仕上げの割れ</p> <p>床</p> <p>コンクリート面の欠け又は仕上げの脱落</p>	・傾斜(球体を転がす)	有 無	
		・躯体に斜めひび割れ	有 無	
		・躯体コンクリートの欠け	有 無	
		・天井又は仕上げのはがれ、割れ	有 無	
耐震壁	 <p>コンクリート斜めひび割れ又は天井・仕上げの割れ</p> <p>耐震壁(戸境壁)</p> <p>コンクリート面の欠け又は仕上げの脱落</p>	・躯体に斜めひび割れ	有 無	
		・躯体コンクリートの欠け	有 無	
		・仕上げはがれ、割れ	有 無	
		・仕上げの脱落、破壊	有 無	